

2022年4月

JETRO

テキサス州 ビジネスの魅力ガイド

オーステイン

City of Austin

Barton Creek Bridge, Austin Texas | Shutterstock

芸術、音楽、革新、そして豊富な自然に包まれる テキサス州オーステイン

目次

Table of Contents

はじめに	3
全米ランキング	4
基本情報	5
経済	
概況	7
主要産業	9
企業	14
投資インセンティブ	15
高等教育／スタートアップ	16
ライフスタイル	18



オースティンの合言葉「Keep Austin Weird」

【免責事項】

当レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ヒューストン事務所が米国調査会社Washington CORE, L.L.C.の協力を得て制作しました。原則2021年3月時点で入手した情報に基づきますが、一部統計等2021年末までに判明した情報を加えています。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、当レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

はじめに

Preface

オースティンへの投資の魅力

テキサス州の州都オースティン市は、2019年の人口が約98万人と全米11位、近隣5郡を含むオースティン・ラウンドロック・サンマルコス都市圏の人口は約220万人に上る。近年オラクルやテスラの本社機能移転、アマゾンの新キャンパスやサムスン電子の新工場設立など発表され、ハイテク産業中心に州内で最も勢いがある町と言える。

人口は2010～19年に22.1%増（全米6.3%増）と急増しており、住宅をはじめとする生活コストの上昇もみられる。ただし、米国の東・西海岸の大都市と比較すれば依然割安であり、企業、人の移転は続く。

オースティンは米国内で住みやすい都市の1位（US News & World Report 2020年）に格付けられ、特にヤングプロフェッショナルにとり住みやすい都市として定評がある。オースティン商工会議所によると、住民の平均年齢は35才、25～44歳の人口層が3割強と米国の大都市圏中でも際立って若い町だ。州立のテキサス大学オースティン校（UT Austin）をはじめ25の大学に17万人以上の学生数が通う。

オースティンの就労人口の11%が理工系STEM関連職に就き、その集中度は全米6位という（2020年オースティン商工会議所）。オースティンの優れた技術系人材がIT、デジタルメディア、データ管理、クリーンテックなど成長産業を支えている。スタートアップを支援する著名インキュベータやアクセラレータが集積し、また州内のVC投資の多くが集まるオースティンには、スタートアップ企業を育む南部随一のエコシステムが発達している。

テキサス・ヒル・カントリーと呼ばれる一帯は風光明媚な丘陵地帯で、ワイナリーやビール、ウィスキー醸造所が集積する。市内中心近くのジルカー・パーク（Zilker Park）などの公園や自然に恵まれ、サイクリング、トレイルランニング、ロッククライミング、ゴルフなどスポーツ好きにも暮らしやすい。「ライブ音楽の世界首都（Live Music Capital of the World）」の愛称どおり、年間通じ音楽も楽しめる、若くて大人の町である。



全米ランキング

Top Rankings in the United States



オースティンは、テクノロジーやスタートアップ関連の経済・社会指標ランキングで頻繁に全国トップに躍り出ている。

- 1位** 2019年 米国で雇用環境の良い都市 二年連続
(2020年2月Wall Street Journal)
- 1位** 2010年～2019年 全米大都市圏人口増加率
(2020年3月U.S. Census Bureau)
- 1位** 2018年 米国内実質個人所得増加率
(2020年3月U.S. Bureau of Economic Analysis)
- 1位** 2019年 ビジネス環境の良い米国都市
(2019年5月WalletHub)
- 1位** 2020年 米国トップテクノロジータウン 2年連続
(2020年11月CompTIA)
- 1位** 2020年 米国内半導体製造関連の外国直接投資額 (FDI)
(2020年3月fDi Intelligence)
- 1位** 2020年 スタートアップ企業にとって手頃に事業を行える米国の都市
(2020年6月Clever)
- 1位** 過去10年間にスタートアップ企業へのシード投資が集まった米国南部の都市 (MightyMiddle) (2020年3月Crunchbase)
- 1位** 2020年 米国における最優秀ビジネス誘致案件：トラヴィス郡
テスラ・ギガファクトリー (2021年1月Business Facilities)
- 1位** 2020年 米国で最も住み心地の良い州都
(2020年2月WalletHub)

基本情報

Basic Information

オースティンは、テキサス州中部の東寄りに位置し、南西にサンアントニオ、北北東東にダラス、東南東にヒューストンがある。オースティンは、グレーター・オースティン地域（オースティン・ラウンドロック・ジョージタウン大都市圏）最大の都市であり、同大都市圏は、オースティンが所在するトラヴィス郡（Travis）、ヘイズ郡（Hays）、コールドウェル郡（Caldwell）、バストロップ郡（Bastrop）、ウィリアムソン郡（Williamson）の5郡で構成されている。

オースティンの主要都市と主な空港



凡例



主要地域

北米空港旅客利用者数ランキング2019 - トップ50に含まれる空港

U.S.News & World Report2021年 - 大学ランキングでトップ20に含まれる大学

全米10位

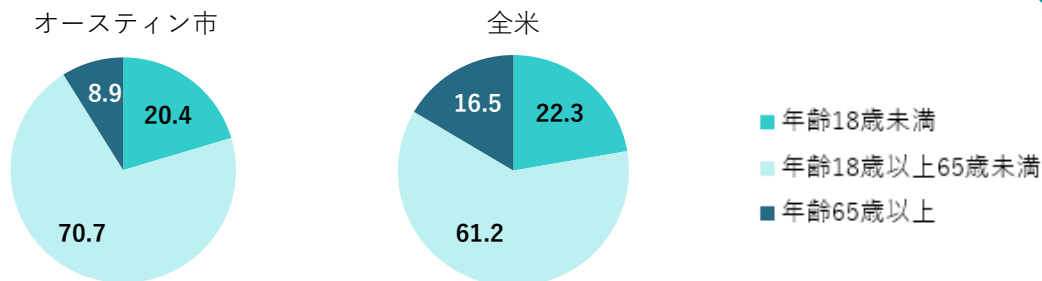
オースティン市を郡庁所在地とするトラヴィス郡の2010～2019年の人口増加数は約25万人で郡単位では10位

オースティン市人口（単位：人）

人口*	オースティン市	テキサス州	米国全体
2010年	801,829	25,146,091	308,758,105
2019年	978,908	28,995,881	328,239,523
人口増減率（%）	22.1	15.3	6.3

*米国勢調査局 2010年4月1日時点、2019年7月1日時点の推計。以下データは特記無い限り同局

オースティン市と全米の人口に占める年齢別内訳（2019年、単位：%）



オースティン市と全米の人種構成（単位：%、2019年）

人種	オースティン市	テキサス州	米国全体
白人	72.6	78.7	76.3
黒人（アフリカ系アメリカ人）	7.8	12.9	13.4
アメリカ先住民とアラスカ先住民	0.7	1.0	1.3
アジア人	7.6	5.2	5.9
ハワイ先住民とその他太平洋諸島の住民	0.1	0.1	0.2
2種類以上の人種	3.5	2.1	2.8
ヒスパニック（ラテンアメリカ人）	33.9	39.7	18.5
白人（ヒスパニック（ラテンアメリカ人）以外）	48.3	41.2	60.1

オースティン市と全米の25歳以上に占める高卒・大卒率（調査期間：2015～19年）

	オースティン市	米国
25歳以上の高卒率	89.1%	88.0%
25歳以上の大卒率	51.7%	32.1%

オースティン市 政治

市長：スティーブ・アドラー（Steve Adler、民主）。現在2期目、任期は2023年1月6日迄
政党色：オースティン市が所在するトラヴィス郡（Travis County）は民主党支持層が多く、2020年大統領選では、ジョー・バイデン氏（民主）がドナルド・トランプ氏（共和）を得票率で約72%対約27%で上回った。

日本-オースティン市関係

- ・在ヒューストン日本国総領事館管轄
- ・在留邦人数 1,051人（2020年10月1日現在 総領事館調）
- ・アメリカ州政府協会在日事務所：テキサス日本事務所 渡邊 博之 代表
- ・オースティン市の姉妹都市：大分県大分市（1990年～）

経済概況

Economy

テキサス州の主要大都市圏の経済規模（2020年）

大都市圏	名目GDP (百万ドル)
ヒューストン・ザ・ウッドランズ・シュガーランド大都市圏	488,165
ダラス・フォートワース・アーリントン大都市圏	534,807
オースティン・ラウンドロック・ジョージタウン大都市圏	168,436
サンアントニオ・ニューブラウンフェルズ大都市圏	132,116
米国全体	18,820,862

データ：米国経済分析局

オースティン・ラウンドロック・ジョージタウン大都市圏の輸出額（調査期間：2015年～19年）



オースティン市の世帯数と所得（調査期間：2015～19年）

世帯・所得データ	オースティン市	テキサス州	米国全体
世帯数	380,392	9,691,647	120,756,048
平均世帯人数	2.44	2.85	2.62
世帯所得（中央値、ドル）	71,576	61,874	62,843
貧困率（%）	13.2	13.6	10.5

データ：米国国勢調査局

オースティン・ラウンドロック・ジョージタウン大都市圏の労働人口・失業者数

労働データ	2019年10月		2020年10月	
	オースティン 大都市圏	米国全体	オースティン 大都市圏	米国全体
労働人口（人）	1,251,714	165,151,025	1,256,957	162,083,614
失業者数（人）	32,040	5,589,429	63,682	10,706,622
失業率（%）	2.6	3.4	5.1	6.6

データ：米国労働統計局

経済一概況

Economy

オースティン・ラウンドロック・ジョージタウン大都市圏の職業別 雇用数・平均賃金（2019年5月）

職業	雇用者数（人）		平均年間賃金（ドル）	
	オースティン 大都市圏	米国全体	オースティン 大都市圏	米国全体
全体	1,073,340	146,875,480	55,190	53,490
マネジメント	66,750	8,054,120	123,150	122,480
ビジネス・財務	72,740	8,183,750	75,010	78,130
コンピュータ・数理	66,800	4,552,880	90,990	93,760
建築・エンジニアリング	26,710	2,592,680	92,010	88,800
自然科学、社会科学	10,880	1,288,920	68,490	77,540
コミュニティ/社会サービス	11,620	2,244,310	49,100	50,480
法務	11,070	1,150,780	103,450	109,630
教育、訓練、司書	62,330	8,886,600	54,210	57,710
アート、デザイン、エンター テイメント、スポーツ、メ ディア	21,360	2,017,810	60,440	61,960
医療・看護・技師	50,110	8,673,140	81,090	83,640
医療補助	28,280	6,521,790	31,430	31,010
保安警備	22,440	3,498,800	49,960	49,880
飲食業	111,780	13,494,590	26,330	26,670
土地建物清掃メンテ	30,580	4,429,100	28,710	31,250
パーソナルケアとサービス	22,580	3,303,200	30,840	31,260
販売・営業	112,930	14,371,410	46,560	43,060
事務/管理補助	162,240	19,528,250	41,060	41,040
農業、漁業、林業	1,330	484,750	33,370	31,340
建設・採掘	44,950	6,194,140	44,500	52,580
設置、保守、修理	36,900	5,713,450	46,980	50,130
生産	40,340	9,158,980	37,890	40,140
運輸・運搬	58,650	12,532,030	34,670	37,920

データ：米国労働統計局

経済－主要産業

Major Industries

オースティンは、米国で最もビジネス環境が優れた町の一つに数えられる。「ヒューマン・キャピタル＝人財」と呼ばれる質の高い人材の豊富さ、イノベーション創出能力の高さ、ビジネスコストの低さ、生活水準の高さなどから、技術系の企業、人材を中心に人気急上昇中の町である。「シリコンヒルズ」（シリコンバレーと近隣の風光明媚な丘陵をかけた造語）と称されるオースティンには、デル・テクノロジーズやオラクル、インテル、テスラ、アマゾン、グーグルなど数多くのハイテク企業が拠点を構え、事業を拡大している。サムスン電子や東京エレクトロン（TEL）など半導体関連産業も集積する。



Googleオースティンオフィス



オースティンのダウンタウン

オースティンは、ベンチャー投資の集まる町として有名だ。2018年にはテキサス州全体のベンチャー投資の62%がオースティンに拠点を置く企業に集中した。オースティンでの主なベンチャー投資先はインターネット、モバイル・電気通信、ソフトウェア、コンピュータハードウェア・関連サービスなどである。オースティンは「ライブ音楽の世界首都（Live Music Capital of the World）」の愛称もある音楽の町で、大規模なコンサートやイベント、関連デジタルコンテンツを生み出すクリエイティブ・デジタルメディア産業も経済成長を後押ししている。



オースティン市街地のスカイビュー

経済－主要産業

Major Industries



オースティン市の旗

グレーター・オースティンを代表する主要産業



先進製造業



クリエイティブ・デジタルメディア



クリーンテクノロジー



ライフサイエンス



データ・マネジメント



金融・保険サービス



宇宙技術

グレーター・オースティンを代表する主要産業には、①先進製造業、②クリエイティブ・デジタルメディア、③クリーンテクノロジー、④ライフサイエンス、⑤データマネジメント、⑥金融・保険サービス、⑦宇宙技術などがある。

なお、主要産業の記載に当たっては、オースティン商工会議所のウェブサイト及び資料を参考に作成した。実際に競争力の高い産業もあるが、今後の成長を見込んでいる産業も含まれている。

経済－主要産業

Major Industries



先進製造業 *Advanced Manufacturing*

グレーター・オースティンにおける2019年の製造業全体の雇用数は6万2,100人（2009年比27%増）。このうち、ハイテク企業約450社での雇用者数は3万9,000人だった。高度に訓練された労働力と地域の産学連携により、オースティンは半導体や電子製品の研究開発、製造で競争力を有する。また自動車技術、医療機器、ナノテクノロジー、航空関連製造などでも成長をみせている。



グレーター・オースティンに所在する各企業は、2019年に約4,750件の特許を取得し、全米大都市圏50カ所のうち、オースティンは特許取得件数で11位である。さらに、グレーター・オースティンには、組立てや製造、保管の目的で州内に置かれる期間が175日以下の物品に対する従価税が免除されるフリーポート免税（Freeport Tax Exemption）や、関税負担を減らす効果のある自由貿易地域（Foreign Trade Zone：FTZ）が各地に存在し、製造企業にとり優れた事業環境にある。

多くのコンピューターや半導体メーカーがオースティンに設計・生産センターを設置している。例えばサムスン電子（Samsung）の海外最大の生産施設や研究センターはオースティンに所在するほか、同社はオースティン近郊に同社にとり米国最大の投資案件となる最新の半導体工場を建設予定である（2024年後半の生産開始予定）。シンガポールの電子部品大手フレックス（Flex）は、アップルの新「Mac Pro」の生産業務を担うためにオースティンの施設規模を拡大した。



クリエイティブ・デジタルメディア *Creative Digital Media*



グレーター・オースティンは、クリエイティブ・デジタルメディア産業の中心地になりつつあり、ゲーム、ソフトウェア、モバイルアプリ、ソーシャルメディア、音楽・映画、教育、広告、デジタルコンテンツなど幅広い分野の雇用者数は5万人を超えている。また同地域は、サウス・バイ・サウスウエスト（SXSW）やオースティン・シティ・リミッツ（Austin City Limits）といった大型ソーシャルイベントの

中心地としての地位を確立しており、クリエイティブ人材が自らのキャリアを築くための地となっている。テキサス大学オースティン校やテキサス州立大学、オースティン・コミュニティ・カレッジの映画やデザイン、メディア専攻、コンピュータサイエンスプログラムで学ぶため学生が集まる。クリエイティブ・デジタルメディア分野で同地域に進出した大手企業には、アップル、メタ（旧フェイスブック）、グーグル、任天堂、ロクなどが挙げられる。また、拡張現実（AR）技術開発スタートアップ企業マジック・リープ（Magic Leap）も、オースティンにエンジニアリングセンターを構えるなど、関連新興企業も数多く活躍している。

経済－主要産業

Major Industries



クリーンテクノロジー Clean Technology

グレーター・オースティンではクリーンテック関連企業200社以上が、約2万人の雇用を創出している。米国立再エネ研究所から国内トップクラスのグリーン発電事業者とされる地元電力オースティン・エナジーは、「グリーン・チョイス」と呼ばれる再エネ発電由来の電力を選択できる電力プログラムを消費者に提供している。また、同社は、



他電力大手らと連携し、再エネを組み込んだスマートグリッドの開発に向け研究機関Pecan Street Research Instituteを立ち上げている。電気自動車（EV）大手テスラは2020年7月、11億ドル規模のEV工場をオースティンに建設することを発表、2021年末から生産が始まった。同社は2021年10月、本社機能をカリフォルニア州からオースティンに移すことも発表している。

オースティンには、テキサス大学オースティン校（UT Austin）付置機関のATIクリーンエネルギー・インキュベーターの他、インキュベータ、アクセラレータが多数あり、クリーンテック関連スタートアップの事業化を支援するエコシステムが育っている。また、州面積の75%を網羅する系統運用・管理機関テキサス州電力安定性協議会（The Electric Reliability Council of Texas：ERCOT）の本部もオースティンにある。



ライフサイエンス Life Science



グレーター・オースティンには、医療機器や医薬品、医療診断関連などライフサイエンス企業240社以上が、1万5,000人以上の雇用を創出している。また病院数では全米2位の民間大手医療システムであるアセンション・ヘルス（Ascension Health）傘下で、オースティン最大の病院アセンション・シートン（Ascension Seton）らとの提携により、テキサス大学オースティン校（UT Austin）に2016年、医学部であるデルメディカルスクールが開校した。デル・テクノロジーズ創業者で出資者であるマイケル・デル氏の財団の名を冠している。

UT Austinは薬学部も全米トップクラスであり、バイオエンジニアリング、ナノテクノロジー、バイオインフォマティクスなどのプログラムも充実している。ウィリアムソン郡にあるテキサスA&M大学健康科学センター（Texas A&M Health Science Center College of Medicine）ラウンドロックキャンパスも、ライフサイエンス分野の人材開発に貢献している。

経済－主要産業

Major Industries



データマネジメント

Data Management

グレーター・オースティンは、ハリケーンやトルネードなど自然災害のリスクが低く、超高速通信網が整備され、電気料金も低廉であるため、データマネジメント産業が発達している。AMD、IBM、シスコ、シティグループ、デル、インテル、HP、オラクルといったデータセンター関連大手が進出している。例えばデルはグローバルのデータセンターを地域に2カ所所有している。また、バザーボイス（Bazaarvoice）、DXTテクノロジー（DXT Technology）、グーグル、タブローソフトウェア（Tableau Software）といったデータ分析関連大手が、優秀な地元人材を活用している。こうした人材はテキサス大学オースティン校（UT Austin）でスーパーコンピューター関連研究を支援するテキサス先進コンピューティングセンター（Texas Advanced Computing Center：TACC）などから輩出されている。TACCは産学のパートナーと共同で、先進コンピューティング技術を用いたデータマネジメント関連イノベーションの推進に貢献している。



金融・保険サービス

Financial/Insurance Services

グレーター・オースティンにおけるマネジメント、ビジネス、金融サービス職に従事する労働者は約13万5,200人（2020年）に上る。ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ（Dimensional Fund Advisors：2006年移転）やチャールズ・シュワブ（Charles Schwab：2013年開設）、ピムコ（PIMCO、2018年開設）など大手投資顧問会社らのオースティン新規進出は、地元の金融産業の発展に貢献している。この他にもデロイトやファーマーズ・インシュアランス、ステート・ファーム・インシュアランス、VISAなど金融・保険サービス関連の大手企業がオースティンに進出している。



宇宙技術

State Technology

イノベーションや研究、起業、ビッグデータ、電子機器製造、スーパーコンピューティング等で一日の長のあるグレーター・オースティンは、宇宙関連技術企業にも豊富な支援資源を提供する。関連雇用数は1万2,000人超で、オースティンの宇宙産業は成長分野として衛星・小型衛星、宇宙船用小型発射台、宇宙船部品、有人宇宙飛行、宇宙空間での各種サービス、宇宙資源、関連ソフトウェアなどに注目している。進出企業は、英BAEシステムズやロードアイランド州のテキストロン・システムズ（Textron）など。テキサス大学オースティン校（UT Austin）は、宇宙・航空工学プログラムで全国トップ10位内にランクされており、テクノロジー実用化・宇宙起業家プログラム（修士課程）は毎年100名の卒業生を輩出する。テキサス州立大学の素材科学・エンジニアリング・商業化（MSEC）プログラム（博士課程）では、宇宙関連の先進複合材料の研究や開発、技術の商用化に向けた取組が行われている。



経済－企業

Major Companies

オースティン市の事業所数、マイノリティ所有事業所数、
退役軍人所有事業所数（2012年）

事業所の種類	総数
事業所	96,408
マイノリティ所有事業所	28,888（事業所数比30%）
退役軍人所有事業所	7,314（事業所数比7.6%）

データ：米国情勢調査局



AUSTIN

Fortune 500にランクインしたオースティン地域に拠点を置く企業（2021年）

2021年フォーチュン500にランクインしたオースティン地域を本社とする企業にはデル・テクノロジーズ（28位）、オラクル（80位）がある。その他、住宅設備のリジディオ・テクノロジーズ（Resideo Technologies、548位）、ITサービスのデジタル・リアルティ・トラスト（Digital Realty Trust、627位）。テスラ（100位）の本社機能はカリフォルニア州パロアルトにあるが、同社2021年10月に本社機能をテキサス州オースティンに移すことを発表している。



投資インセンティブ

Investment Incentives

オースティン市では、州レベルの企業誘致や事業拡大向けインセンティブに加え、自治体レベルの支援プログラムも複数提供されている（その他、テキサス州政府が提供する税優遇措置等もある。詳細は別冊「テキサス州」の投資インセンティブに関する解説部分を参照）。

オースティン政府の主な投資インセンティブ（2020年12月時点）

インセンティブ	概要
事業拡大インセンティブプログラム（Business Expansion Incentive Program）	オースティン市の地元企業、オースティン市が指定する雇用・労働障害者（targeted populations, or those with barriers to employment）を雇用する企業、オースティン市に移転する企業を対象に、助成金や固定資産税の払い戻しが提供される。地元企業の事業拡大とオースティン市に事業を移転する企業には、雇用1人に対して年間賃金の3%を還元、最大50%の固定資産税還元が提供され、雇用・労働障害者を雇用する企業に対しては、雇用1人につき年間最大3,000ドルが支給される。
廃棄物ゼロビジネスリベート（Zero Waste Business Rebate）	オースティンに拠点を置く企業を対象に、リサイクルや堆肥化といった手法で廃棄物削減に取り組むことを条件に、事業所1か所につき最大1,800ドルのリベートを提供する。
技術開発助成プログラム（Grant for Technology Opportunities Program : GTOPT）	オースティン市のデジタル社会推進を目的に、オースティン市を拠点とする非営利団体に対して、コアファンディング（1万～3万5,000ドル）、ミニファンディング（5,000～1万ドル）、キャパシティファンディング（150～2,500ドル）という3種類の助成金が支給される。
零細企業技術支援プログラム（Micro-Enterprise Technical Assistance Program）	オースティン市に拠点を置く従業員5人以下の企業に対して、技術訓練や技術支援といったサービスを提供する。

出典：オースティン市経済開発局

経済開発組織・商工会議所

オースティン地域の主要な経済開発組織および商工会議所・経済団体は以下のとおり。

組織	概要
オースティン市経済開発局（City of Austin's Economic Development Department）	オースティン市への企業誘致と地元企業の支援を担当しており、文化芸術課（Cultural Arts）、グローバルビジネス拡大課（Global Business Expansion）、遺産観光課（Heritage Tourism）、音楽・エンターテインメント課（Music & Entertainment）、再開発課（Redevelopment）、中小企業課（Small Business）を通じて、オースティン経済の競争力強化を目指している。
オースティン商工会議所（Austin Chamber of Commerce）	グレーター・オースティンに拠点を置く企業を代表するオースティン最大の商工会議所で、賃金上昇、雇用創出、経済の多様性促進、人材獲得を主な使命とする。同会議所は、オースティン・グローバル・ゲートウェイ（Austin Global Gateway : AGG）と称するプログラムを通じてオースティンの競争力の高さを紹介し、外国企業からのオースティンの認知度向上と投資の促進を目指している。

出典：各組織のホームページ

高等教育／スタートアップ

Higher Education / Startup

主要大学

オースティンに所在する著名な大学は、テキサス大学オースティン校（UT Austin）である。

テキサス大学オースティン校

1883年創立。テキサス州の州立大学中、最も高い評価を受けている総合大学であり、公立大学のアイビーリーグ（Ivy League）に相当する「パブリックアイビー（Public Ivy）」の一つとされている。2018～2019年度の学生数は5万1,832人で、専攻数は学部が156、大学院が170以上である。U.S. News & World Reportの2021年全米大学ランキングでは42位で、テキサス州ではヒューストン市のライス大学（Rice University：同16位）に次ぐ2位である。公立大学としては全米13位の評価を受けている。



テキサス大学オースティン校

大学院プログラムではビジネススクール（McCombs School of Business）、エンジニアリングスクール（Cockrell School of Engineering）、看護学科の評価が高い。ビジネススクールでは特に会計、ビジネス分析が全米トップクラス。同大ビジネス学部長だったジョージ・コズメツキー教授が同大付置機関として1977年に地域経済開発のシンクタンクIC² Institute、1989年にインキュベーターAustin Technology Institute（ATI）を設立。両機関は現在も地域のイノベーション創出で重要な役割を担う。同校は、U.S. Newsの2021年最もイノベーティブな大学ランキングで全米15位。

コミュニティカレッジ



オースティン・コミュニティカレッジ・ディストリクト（ACC）は、オースティン市を含む周辺8郡を対象に教育プログラムを提供している。キャンパス数は11、学部数は10、専攻数は約100種類以上、単位登録の学生数は約4万人以上とコミュニティカレッジシステムとしては全米6位の規模を誇る。

学部には、芸術・デジタルメディア・通信、ビジネス、コンピュータ科学・情報技術、設計・製造・建設・応用技術、医療科学、科学・工学・数学などがあり、オースティンの

産業の強みである科学、コンピュータ、工学分野の学科が数多く揃っている。またACCでは、学生のキャリア開発や技能習得を支援するための指導や訓練、ワークショップも提供している。

高等教育 / スタートアップ

Higher Education / Startup

スタートアップ

オースティンのスタートアップ企業を支援する主な組織は以下のとおり。

組織	概要
●● Capital Factory	起業家を支援する州内著名VC兼アクセラレーター。コワーキングスペースなどを提供。2019年には20万人以上の起業家、プログラマーらを支援
● Tech Ranch	オースティンをはじめ世界中の起業家を支援するアクセラレータ。これまでに起業家6,500人以上、750のソリューションの実用化を後押し。
● Austin Technology Incubator	テキサス大学オースティン校 (UT Austin) の付置機関として1989年に設立された、米国で最も歴史のあるインキュベーターの一つ。テキサス大学オースティン校 (UT Austin) およびオースティンの起業家に対して、イノベーションの実用化を支援することを使命としている。
● Silverton Partners	2006年設立の州内著名VC。2019年のベンチャー投資は18億4,000万ドルを記録した。投資額は年々増加傾向。マーケットプレイス、仮想・拡張現実 (VR/AR)、バイオテック、不動産関連技術、人事関連技術といった幅広い分野に携わるスタートアップ企業100社以上に投資した実績。2018年と2019年にオースティンでの投資件数は最多。
● Next Coast Ventures	西海岸や東海岸の企業よりも、米国中部の企業への投資に焦点。2018年と2019年にオースティンでの投資件数はSilverton Partnersに次いで多かった。
● ATX Venture Partners	州内のテクノロジー関連スタートアップ企業に投資。分野は販売関連技術、人工知能 (AI)、小売関連技術、マーケットプレイス、衛星、ドローンなど様々。
● UT Horizon Fund	テキサス大学 (UT) の戦略的投資部門。UT各校と関連のある企業を主に支援。

● インキュベーター ● アクセラレーター ● VC

出典：各組織のホームページ

オースティンが優れているのは**リスクをとろうとする意欲**だ。失敗したとしても、そこからすぐに学べば問題ない。

我々は**協力しあう**町だ。これが大きな助けになる。オースティンにやってくるスタートアップ企業の人たちに話を聞くと、競合関係にあったとしても、知り合いを紹介するため喜んで名刺をめくってくれることに驚くのだそう。

流行にも敏感で、新しいものが好き。ミレニアル世代の多い若い町だ。

そして「**Keep Austin Weird (風変わりなままでいよう)**」。

オースティンでは、人と違うこととしても、違うものを着ていても、違うことを言っても、驚くことなく、その違いを受け入れる。

(オースティンがなぜイノベーションで秀でているかの問いに)

2017年11月
オースティン スティーブ・アドラー市長
デジタル情報誌Stoutのインタビューから

ライフスタイル

Lifestyle

生活基本データ（調査期間：2015年～19年）

生活基本データ	オースティン市	米国全体
世帯所得（中央値、ドル）	71,576	62,843
住宅価格（中央値、ドル）	337,400	217,500
家賃（中央値、ドル）	1,280	1,062
持ち家率（%）	45.1%	64.0%

データ：米国情勢調査局

人気居住エリア



オースティンの住宅街

市内ではダウンタウンからすぐ北のテキサス大学オースティン（UT Austin）からみてさらに北のアランデール（Allandale）やノース・ループ（North Loop）、東のチェリー・ウッド（Cherrywood）。またダウンタウンから南に離れたサウス・メンチャカ（South Menchaca）や、南西部のウェスタン・オークス（Western Oaks）などは、メディアでも住み心地の良い地域として紹介される。市外の通勤圏では北のラウンドロック市（Round Rock）、ジョージタウン市（Georgetown）、西のドリッピングスプリングス市（Dripping Springs）も人気のエリアである。

日本関係コミュニティ

日米交流の文化プログラムや米国人向け日本語教室を開くグレーターサンアントニオ日米協会や、日本人会に当たるAustin Japan Communityがある。オースティン日本語補習授業校では、日本人駐在員家族等向けに日本語での授業を行っている。日本の食材はあさひ日本食料品店などで入手できる。日本食レストランや日本の雑貨、書籍を購入できる店舗も増えてきた。

交通

キャピタル・メトロポリタン運輸局（Cap Metro）がオースティン地域の公共交通機関を運営している。メトロバス（MetroBus）や、通勤・通学用高速バスのメトロラピッド（MetroRapid）、メトロエクスプレス（MetroExpress）、通勤列車のメトロレール（MetroRail）がある。

米国情勢調査局によると、2015年から2019年におけるオースティン市の16歳以上の住民の通勤手段は車、トラック、バンを一人で運転が73.7%、車、トラック、バンの相乗りが9.1%、公共交通機関（タクシーを除く）が3.5%、徒歩が2.4%の順であった。また、同期間のオースティン市の通勤時間平均は24.5分で、全米平均の26.9分よりも短かった。



オースティンの高速道路

ライフスタイル

Lifestyle

オースティンは温暖な気候に恵まれ、周囲にはテキサス・ヒル・カントリーと呼ばれる風光明媚な丘陵地帯、自然に囲まれ、公園やハイキングトレイル、プールといった屋外レクリエーションを存分に楽しむことができる。郊外にはワイナリーやビール、ウィスキーの醸造所も多く週末のんびり過ごすには最適な環境だ。「Live Music Capital of the World」の愛称もある音楽が盛んな町でテレビ番組Austin City Limitsのライブ演奏や、大規模な野外フェスティバルが開催されている。音楽と映画、イノベーションをテーマとする大型イベント「サウス・バイ・サウス・ウェスト (SXSW)」も有名だ。オースティンでは路上で声をかけると顔見知りでなくても明るく挨拶が返ってくるという気さくな町だ。「Keep Austin Weird (風変わりなままでいよう)」の合言葉どおりおしゃれであり、どこか風変わりであり、マニアックであり、そして面白い。独特の雰囲気を持つこの町はこれからも長く住む人、訪れる人を魅了し続けるだろう。



サウス・バイ・サウスウエスト



ジルカー・パーク

スポーツチーム

メジャーリーグサッカーのオースティンFC (Austin FC) をはじめ、サッカーやラグビーチームが複数あるほか、テキサス大学オースティン校 (UT Austin) の総合スポーツチームであるテキサス・ロングホーンズ (Texas Longhorns) は、アメフトやバスケットボールの強豪として州全域で根強い人気がある。

博物館／美術館／史跡等

テキサス州議事堂 (State Capitol) はドーム型議事堂では全米で最大。ブルック (Bullock) テキサス州歴史博物館は古代から現代までのテキサス史を全て学べる。LBJ 大統領図書館 (LBJ Presidential Library)、テキサス軍事博物館 (Texas Military Forces Museum)、常設の音楽ライブ会場Austin City Limits Liveなど。

住民気質

「Keep Austin Weird (風変わりな街のままでいよう)」を合言葉とするオースティンの住民は、都会的な雰囲気を持ち、高学歴な層が多い。同時に旅行者や移住者に対して暖かく寛容といわれている。また、全米でも有数の大学街であることから、政治的にはリベラル派が多いことでも知られている。

A graphic element consisting of a horizontal teal bar on the left that transitions into a stylized, multi-layered diamond shape on the right. The diamond is composed of several concentric, offset lines in various shades of teal and light blue, creating a geometric, maze-like pattern.

JETRO

ジェトロ・ヒューストン事務所
1221 McKinney Street, Suite 4141,
Houston, Texas 77010, U.S.A.
Email: inqu-hou@jetro.go.jp

写真：引用記載が無いものはShutterstockの素材を基に作成。Images used under license of Washington CORE with Shutterstock.com.

制作協力 Washington CORE, L.L.C